

## 【PDCA】

### Ⅱ 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	乳幼児等保健相談事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3,11
事業（細目）名	乳児等保健相談事業	事業番号	1101		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	1	連番 35

### R4年度

<b>Goal(目標)</b>	母子ともに安心して子育てができる環境づくりを構築し、育児仲間の繋がりを図ることができる。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 智頭町で母子ともに安心して健やかに育つことができるように支援をするため乳幼児健診、離乳食講習会、子育て講座などを開催する。</li> <li>・ 赤ちゃん訪問、フォロー対象家庭の訪問、面談や電話相談を随時行う。</li> </ul>

### R4年度

<b>Do(実行)</b>		<b>R4実績額</b>			731,428円	
	活動実績を示す指標	単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	乳児健診受診率	%	97.7	100	101.9	104%
②	離乳食講習会参加率	%	64.3	70	70.6	110%
③	家庭訪問人数	人	38	35	31	82%
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳児健診（3～4か月児健診、6～7か月児健診、9～10か月児健診）の実施 （前年度未受診者が受診しているため受診率が100%を超えている）。</li> <li>・ 母子の健康づくり、育児不安の解消を目的に子育て講座を年2回実施。参加者延18人。</li> <li>・ 2か月に1回（年6回）離乳食講習会を実施。参加率70.6%。各乳児健診で栄養相談を実施。</li> <li>・ 出産した全家庭、フォローの必要な家庭に家庭訪問を実施。31人（赤ちゃん訪問18人、子育て支援目的訪問13人）。</li> </ul>					

### R4年度

<b>Check(確認)</b>						
<b>評価項目</b>	<b>評価内容</b>	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診未受診者には必ず理由を把握している。多くは体調不良や他の用事で、次回健診日に受診している。</li> <li>・ 支援が必要なケースは年々増えており、関係各課・機関と連携しながら対応しているが、有効な支援が実施できないケースも多い。</li> <li>・ 出生数の減少から、離乳食講習会の対象者が激減しており、集団効果が得られにくい。</li> </ul>					

### R4年度

<b>評価</b>	B	<b>方針</b>	拡大	<b>現状維持</b>	抑制	<b>廃止</b>
担当課長評価						
<b>評価</b>	B	<b>評価理由：</b> 法律に基づき、実施すべき事業であるため。				

### R4年度

<b>Action(改善)</b>	
	<b>R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診未受診者には理由を確認し、健診の必要性を伝え、引き続き受診率100%を目標とする。</li> <li>・ フォローが必要な家庭には、関係機関と連携して対応方法を検討し、役割分担しながら支援を行う。</li> <li>・ 出生数が減少しているため、離乳食講習会の開催頻度を減らし、1回開催当たりの対象者を増やして、集団効果が得られるように工夫する。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	幼児健康診査事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	幼児健康診査事業	事業番号	1845		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	2	連番

### R4年度

Goal(目標)	安心して子育てができる環境づくりを構築し、育児仲間の繋がりを図ることができる。
Plan(事業概要・計画)	智頭町で母子ともに安心して健やかに育つことができるように支援をする。 ・1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診、5歳児発達相談の実施。 ・健診後、フォローが必要なケースは、保育園等関係機関と情報共有しながら、保護者の相談に応じる。

### R4年度

Do(実行)		R4実績額	1,972,625円			
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	1歳6か月児健診	%	80.8	100	119.2	148%
②	2歳児歯科健診	%	92.9	100	95.8	103%
③	3歳児健診	%	102.6	100	108.3	106%
実施内容	・母子保健法に基づき、1歳6か月児健診と3歳児健診を年4回ずつ実施。未受診者がいた場合は理由を確認。 未受診者は、次回健診日に受診することがほとんどである（前年度未受診者が受診しているため受診率が100%を超えている）。 ・智頭町は幼児の虫歯罹患率が高いため、歯科保健対策強化の一環として、2歳児歯科健診を実施。歯科健診の他、歯科衛生士・管理栄養士の講話、 歯科指導、フッ化物塗布を実施。					

### R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・健診だけで普段の状況が十分把握できるわけではなく、健診後にフォローが必要となるケースや就学後に課題が発生するケースもある。適切な支援ができるよう、日頃から関係機関との連携を大切にしている。 ・むし歯予防に関しては、歯科健診を中心に、今後も普及啓発活動を継続・強化する。					

### R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：法律に基づき、実施するべき健診であるため。				

### R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	・健診未受診者の保護者に未受診理由を確認、また健診の必要性を伝え、受診率100%を目標とする。 ・関係機関と連携しながら、健診後のフォローを丁寧に行う。 ・虫歯罹患率の低下に向けて、引き続き啓発活動を充実させていく。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	安全安心な学校給食の提供	所属	食センター	SDG s		
事業（細目）名	学校給食費	事業番号	1215			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	①健康	事業番号	3,4,18	連番	37,38,51

R4年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	<p>1. 日常生活における食事について、正しい理解と習慣を養い、学校生活を豊かにする。</p> <p>2. 学校給食に使用する食材の点検及び職員の健康チェック（毎日）。</p> <p>3. 衛生管理の徹底〔外部業者による所内及び職員の衛生診断と細菌（ノロウイルス、大腸菌等）検査〕。</p>

R4年度

(単位：円)

Do(実行)		R4実績額	106,660,000円			
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	学校給食（小学校）	回	179	185	178	99%
②	学校給食（中学校）	回	176	175	170	97%
③						#DIV/0!
実施内容		1 食単価を小学校は280円、中学校は320円で運営。				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		異物混入（微細な昆虫が混入）が数件あったほかは大きな事故、食中毒等もなく、安全で安心な給食が提供できた。今後はより食材チェックに注意を払い、衛生管理を徹底し、安全で安心な給食を提供することが求められる。				

R4年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 給食提供数が減る中で、必要人員数を再検討する必要がある。				

R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	衛生管理の徹底と、食材チェックと機器の管理に細心の注意を払い、安全で安心な給食を安定して提供する。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	中学校の部活動の充実	所属	教育課	SDG s	4
事業（細目）名	中学校教育振興事業/事務局費	事業番号	1187/1183		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	7	連番

R4 年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	中学生がよりよい環境で部活動を行えるようにする。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	部活動指導員・外部指導者を配置し、専門的な技術指導を行う。

R4 年度

(単位：円)

<b>Do(実行)</b>	<b>R4 実績額</b>	738,000円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 部活動指導員数	人	1	1	1	100%
② 部活動外部指導者数	人	3	2	2	67%
					#DIV/0!
<b>実施内容</b>	希望がある部活動について、国・県の補助金を活用しながら指導員・外部指導者を配置した。				

R4 年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	指導員・外部指導者を配置した部活動では技術力が向上し、県大会等への進出も多くみられる。指導者数をいかに増やすかが課題である。					

R4 年度

評価	B	方針	拡大	<b>現状維持</b>	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：部活動の地域移行に併せて強化すべき事業である。				

R4 年度

<b>Action(改善)</b>	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
	外部指導者については、単独指導・引率が可能な指導員への転換を視野に学校及び指導者と調整を行う。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	食育の推進	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	健康教育事業	事業番号	1109		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	8	連番

R4年度

Goal(目標)	食育の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次智頭町食育推進計画の周知。</li> <li>・ 学校給食を生きた教材とし、未来を担う子どもたちに正しい食教育を行う。</li> <li>・ 栄養教諭等の専門職のいない保育園の園児を対象とした健康教育を月に1回開催する。</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額	23,760円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	第二次智頭町食育推進計画の周知	回	0	1	1	#DIV/0!
②	学校給食の提供	人	416	389	389	94%
③	食育推進事業の実施	回	12	12	12	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町報、ホームページで第二次智頭町食育推進計画の周知を行う。6月の食育月間には保育園、小中学校で啓発チラシを配布する。</li> <li>・ 地産地消、郷土料理、行事食などを提供し、給食を生きた教材として子どもたちに食教育を実施。</li> <li>・ 保育園の年中児、年長児を対象に、毎月1回ずつ健康な身体と歯をつくる健康教育を実施。</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町報、ホームページへの掲載に併せて保育園、小中学校で啓発チラシを配布。</li> <li>・ 教育現場で食育を実施することで、子どもだけでなく保護者への啓発にもつながっている。</li> <li>・ 学校栄養教諭と連携して、児童生徒及び保護者を対象とした食育事業を実施（R4.11.27）。</li> </ul>				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：食育基本法に基づき実施する必要があるため。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次食育推進計画では、各関係課で事業評価を行うとともに、食育推進委員との会議を持つ。</li> <li>・ 次年度も引き続き、保育園、学校教育現場等と連携して事業展開を行う。</li> <li>・ 教室参加者が増えるように、子どもや保護者への周知方法を検討する。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	健康相談事業	事業番号	1108			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R4年度

<b>Goal(目標)</b>	町民の健康づくりを支援する。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話、来所、集会などの場での健康相談（随時）</li> <li>・肝炎ウイルス検査での陽性者への定期検査の受診勧奨と状態把握。</li> </ul>

R4年度

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>	13,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	電話相談	件	35	60	52	149%
②	来所相談	件	19	15	22	116%
③	肝炎ウイルス陽性者定期検査受診勧奨	件	48	48	48	100%
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話相談、来所相談（随時）</li> <li>・ひまわり会や老人クラブなどでの相談（随時）</li> <li>・肝炎ウイルス検査陽性者（48名）への受診勧奨通知。</li> </ul>					

R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ関連の相談も多い。</li> <li>・食事のことや健診のことなど多岐に渡る相談もある。</li> </ul>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：個別対応で行う重要な事業である。				

R4年度

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の相談をしっかりと対応していきたい。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	健康教育事業	事業番号	1109			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R4年度

Goal(目標)	生活習慣病の発病予防、重症化予防
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病予防教室やOB会「ブルーリボンの会」の実施（9回）</li> <li>・ウォーキング教室の開催（1回）、各地区健康ウォークの開催（6回）</li> <li>・食生活改善推進員養成講座の開講（4回）</li> </ul>

R4年度

Do(実行)						R4実績額	448,865円
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
①	糖尿病予防教室、「ブルーリボンの会」の開催	延人	106	100	59	56%	
②	ウォーキング教室の開催	延人	207	140	135	65%	
③	養成講座の開催	回	2	4	4	200%	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病予防教室は感染対策を講じながら、食事・運動・口腔衛生等のテーマで年7回実施する。ブルーリボンの会は栄養と運動の2テーマで年2回実施する。</li> <li>・ウォーキング教室は中央での教室の開催と、各地区での健康ウォークを開催する。</li> <li>・養成講座は昨年度実施できなかった調理実習を中心に年4回実施する。</li> </ul>						

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた試食は、感染対策を講じながら行うことで、味付けや適量を対象者の方に理解してもらえた。</li> <li>・養成講座については、計画とおり実施することができ、9名の新入会員が入会した。</li> </ul>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：健康寿命の延伸のためには発病予防、重症化予防の継続は重要				

R4年度

Action(改善)						
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病予防教室の対象者はリスクの高い者を優先し、コロナウイルス感染対策を講じたうえで来年度も実施。</li> <li>・食生活改善推進員の減少、高齢化の課題を解決するため、来年度も養成講座を開講して新たな会員を獲得する。</li> </ul>						

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	健康診査事業	事業番号	1110		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	9	連番

R4年度

Goal(目標)	主に生活習慣病の発病予防、早期発見、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40歳以上の国保加入者に対し特定健診、一定年齢以上の町民に対しがん検診を実施。</li> <li>・ 40歳～69歳の町民に対し人間ドックを実施。</li> <li>・ 40歳～59歳の町民に対し脳ドックを実施。</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額	33,040,261円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	肺がん検診受診率	%	32.0	32.0	31.2	98%
②	胃がん検診受診率	%	26.1	26.0	25.8	99%
③	肝炎ウイルス検査受診者数	人	2.3	2.3	2.0	87%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受ける機会を持ちやすいように、医療機関での個別健診と集団でのセット健診を実施。</li> <li>・ いづれの健診も無料で受けることができる。（人間ドックと脳ドックは個人負担あり）</li> <li>・ 対象者を絞って未受診者勧奨通知を発送。</li> </ul>					

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナウイルス感染症のため、検診全体で受診率が伸び悩み、R3年度よりさらに減少している。</li> <li>・ 智頭病院での受診ができなくなった影響か、子宮がん検診の受診者数が減少している。</li> </ul>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：健康寿命の延伸のためには疾病の早期発見・早期治療が重要。				
評価	B					

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進行癌での発見にならないように受診勧奨をしていく。</li> <li>・ 未受診者勧奨は毎年しているが、さらにしっかりと個別での受診勧奨をしていく。</li> <li>・ 個々の状況を見て、もっと受けやすい受診体制を検討していく。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	訪問指導事業	事業番号	1114			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R4年度

Goal(目標)	町民の健康づくりを支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事指導や特定保健指導勧奨のため訪問（随時）</li> <li>・ 健診事後フォローのための訪問（随時）</li> <li>・ がん検診の精密検査受診勧奨のための訪問（随時）</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額	217,860円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	食事指導や特定保健指導勧奨、健診事後フォロー	件	75	150	269	359%
②	がん検診の精密検査受診勧奨のための訪問	件	38	50	68	179%
③		件				#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診の結果により、訪問して個々にあった食事指導を行う。（随時）</li> <li>・ 特定健診を受けた後のフォローや、特定保健指導が必要と診断された人への利用勧奨のための訪問（随時）</li> <li>・ 各がん検診の結果、精密検査となった人に訪問して、説明、受診勧奨を行う（随時）</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナウイルス感染症のため、受診率が減少しているが、訪問対象者は増加している。</li> <li>・ 訪問して説明することで、必要性などの自覚を促すことが出来ている。</li> </ul>				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：直接対話、継続が重要。				
評価	B					

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問することで強く自覚を促すことが出来るので、必要に応じて実施。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業(介護・地域介護予防活動支援事業)	事業番号	2105		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	10	連番

### R4年度

<b>Goal(目標)</b>	地域における介護予防活動の推進
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防活動の地域展開を支援。</li> <li>・認知症予防のための教室開催支援。</li> <li>・森のミニデイ、集落ミニデイの実施（委託）。</li> </ul>

### R4年度

<b>Do(実行)</b>		<b>R4実績額</b>		10,724,233円		
	活動実績を示す指標	単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	いきいき脳元気教室参加延人数	人	1,254	1,634	1,686	134%
②	森のミニデイ実施箇所	箇所	6	6	6	100%
③	集落ミニデイ実施箇所	箇所	37	37	36	97%
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体の通いの場（森のミニデイ・集落ミニデイ）の運営を地区振興協議会や社会福祉協議会に委託。</li> <li>・いきいき脳元気教室の開催支援。</li> </ul>					

### R4年度

<b>Check(確認)</b>						
<b>評価項目</b>	<b>評価内容</b>	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週通え、みんなで顔を見合わせ話ができる場があることを喜んでいる方が多く存在している。</li> <li>・脳元気教室の宿題を毎日することが日課となり定着化し、住民の介護予防に大いに貢献していると考えます。</li> <li>・介護予防に資するボランティアの育成及び活動が必要。</li> </ul>					

### R4年度

<b>評価</b>	<b>B</b>	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
<b>評価</b>	B	<b>評価理由：</b> 介護予防活動をより効果的に行うために地域展開が必要である。				

### R4年度

<b>Action(改善)</b>	
	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき脳元気教室は、開催曜日を増やし、参加者を分散させ開催。引き続き週2回で継続実施。</li> <li>・より智頭町らしい介護予防活動の地域展開を進めるため、関係機関・地域住民とともに検討を行う。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11
事業（細目）名	介護予防普及啓発事業	事業番号	2038		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	10	連番

R4年度

<b>Goal(目標)</b>	介護予防の推進
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防の一環として、認知症予防のため脳の健康教室を実施。</li> <li>・3ヶ月間の介護予防体操教室を実施。</li> </ul>

R4年度

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>				1,698,260円
活動実績を示す指標	単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 脳の健康教室参加実人数	人	20	10	11	55%
② フレイル予防教室参加者実人数	人	-	20	20	#VALUE!
③					#DIV/0!
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くもん式脳の健康教室を9/6～12/27までの1クール（4ヶ月間）実施。</li> <li>・介護予防教室（1クール3ヶ月）をJa-んぐるに委託し実施。65歳～74歳の人へ個別に通知し、3ヶ月間のプログラムに励むことにより、運動機能の改善・向上・維持を図り、この教室で得た知識や技術を活用し、フレイル予防を視点を取り入れた生活を送れるようにする。また、定期的に各地区で開催されている体操教室に案内し、その地区でのキーパーソンとなって体操教室を広めてもらう。</li> </ul>				

R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の満足度は毎回あるが、60代の参加者は、内容が簡単過ぎるため物足りなさもある。対象者の選定などを改める必要がある。</li> <li>・フレイル予防教室の参加希望は、個別通知だけでは反応が乏しいため周知方法の検討が必要である。</li> </ul>					

R4年度

評価	<b>B</b>	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----------	----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B	評価理由：参加者の満足度は高いが、参加者数の拡大が必要。
----	---	------------------------------

R4年度

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>脳の健康教室もフレイル予防教室の参加者も、広く個別通知するだけでは反応が乏しいため、募集方法や周知方法がある程度絞り、開催時間帯等も再検討し企画する必要がある。</p> <p>次年度は、65歳以上～75歳未満を対象に案内をする予定。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11	
事業（細目）名	地域リハビリテーション活動支援事業	事業番号	2040			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	10	連番	43

### R4年度

Goal(目標)	介護予防の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区で定期的に介護予防教室を開催</li> <li>・いきいき百歳体操の普及啓発</li> <li>・住民及びサービス事業所への理学療法士による助言・指導</li> </ul>

### R4年度

Do(実行)		R4実績額	2,983,081円			
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	元気にすてっぷフォロー教室参加延人数	人	2,496	3,476	3,449	138%
②	いきいき百歳体操実施箇所数	箇所	18	20	20	111%
③	住民及びサービス事業所への助言・指導延件数	件	6	13	1	17%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区で介護予防体操教室を開催（月2～4回）。</li> <li>・いきいき百歳体操実施グループに対し、理学療法士が指導を実施。</li> <li>・住民及びサービス事業所に対し、理学療法士からの助言・指導を実施。</li> </ul>					

### R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すてっぷ体操は、智頭区の参加者が増え活気に満ちあふれているが、各地区公民館等で開催しているクラスでは若干増えている箇所もあるものの、参加者の増えはみられない。会員増に向けた取組が必要である。</li> <li>・百歳体操の理学療法士派遣は、コロナ禍のため調整困難なこともあり、十分な指導が行えていない。</li> </ul>					

### R4年度

評価	<b>B</b>	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：専門職の視点をいかすことができおり、介護予防に効果的な事業である。				

### R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区公民館等でのすてっぷ体操の会員を増やすため、各団体等とも連携し募集や周知方法の検討を図る。</li> <li>・理学療法士派遣について、コロナ禍前と同様に十分な指導が行えるよう検討する。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護給付費の適正化事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11	
事業（細目）名	介護給付費の適正化事業の推進	事業番号	1893			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	11	連番	44

### R4年度

<b>Goal(目標)</b>	介護給付費の適正化
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	保険者から受給者本人（家族含む）に対して、事業者からの介護報酬の請求及び費用の給付状況等について通知することにより、受給者や事業者に対して適切なサービス利用を普及啓発するとともに、自ら受けているサービスを確認し、適正な請求に向けた抑止効果を上げる。（年に2回送付。通知対象者は介護サービス受給者から国保連合会が抽出。）

### R4年度

<b>Do(実行)</b>		<b>R4実績額</b>	106,113円			
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	介護給付費通知対象者（手数料21.5円/件）	件	953	972	982	103%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>		・受給者本人（又は家族）に対して、サービスの請求状況及び費用等について通知を送付。（8月、2月）				

### R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>		介護給付費通知は、発送時の手間が膨大であるにもかかわらず、具体的な効果については不透明な状況にあるため、その効果をどう分析していくかが課題である。また、わかりやすく効果的な介護給付費通知となるよう記載内容や抽出内容等を検討するとともに、効果や課題を把握し改善点をとらえ実施していく必要がある。				

### R4年度

<b>評価</b>	B	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
<b>評価</b>	B	<b>評価理由：</b> 介護給付の適正実施のため、必要な事業である。				

### R4年度

<b>Action(改善)</b>	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
・通知内容や発送回数及び時期を確定させ、作業効率を高める方法を構築するよう検討を進める。 ・受給者へ確実に周知されるよう「給付費通知の見方」や「介護保険制度の案内」等を同封するなど、効果を高める方策を検討する。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりを目指した健康ちづ21の見	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業(細目)名	健康教育事業	事業番号	1109		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	12	連番

R4年度

Goal(目標)	正しい知識を普及啓発し、生活習慣病の発病予防、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブやミニデイなどでの講話(随時)</li> <li>・町保健衛生委員会の開催</li> <li>・中学校で思春期教室の開催</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額	54,184円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	老人クラブ等での健康教育	延人	93	100	104	112%
②	中学校での思春期教室	人	41	29	29	71%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブやミニデイなどでの講話</li> <li>・中学校で思春期教室の開催</li> </ul>					

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健衛生委員研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、資料配布等で啓発活動を実施した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、老人クラブでの健康教室が中止となった。男の料理教室はレシピ配布のみ行った。</li> </ul>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：中止した事業が多い。				

R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ等での健康教育や保健衛生委員の研修は社会情勢を踏まえ実施を検討する。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康に対する意識の高揚を図るための啓	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	健康相談事業	事業番号	1108			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	13	連番	46

R4年度

Goal(目標)	正しい知識を普及啓発し、生活習慣病の発病予防、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<p>広報誌、告知端末、ホームページなどの様々な媒体を活用した啓発。（随時）</p>

R4年度

Do(実行)	R4実績額	15,944円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	集団健診広報誌掲載回数	回	7	9	8	114%
②	その他健康に関すること	回	8	16	13	163%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほのほののそよかぜ通りにおけるポスター掲示やパンフレットの配布。</li> <li>・広報や告知端末を利用しての情報啓発。</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>健康に関する様々な情報をポスターの掲示やパンフレットの設置により提供をしている。国が決めている〇〇月間や△△週間などに合わせて変更している。時々見ている人を見かけるし、使い勝手のいい配布物はなくなるがどの程度関心を示してもらっているか不明。</p>				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：啓発の継続は重要				

R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に関する情報を積極的に行う。</li> <li>・告知端末や広報以外の高齢者への啓発方法をさらに検討。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康増進のためのセラピーロードの活用	所属	山村再生課	SDG s	12,15
事業（細目）名	森林セラピー事業	事業番号	1896		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	14	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	森林セラピーの普及啓発及びプランの実施検証。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を徹底したうえで、森のガイド養成講座・ガイドフォローアップ講座を開催する。</li> <li>・町福祉課や各地区振興協議会等と連携し、森林セラピーの利用を推進する。</li> </ul>

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額				2,019,859円	
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	森のガイド養成講座・ガイドフォローアップ講座開催	回	6	12	12	200%
②	セラピーDAY開催	回	1	14	110	11000%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・山郷地区振興協議会、はじくしんこうへ環境整備費として補助金を交付。</li> <li>・土師地区振興協議会へ環境整備費として補助金を交付。</li> <li>・町民の森林セラピーガイド料を無料とし、利用を促進。      ・町福祉課と連携して健康ポイント事業を実施。</li> </ul>				

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響が続き、計画通りにイベントが実施できなかった。</li> <li>・町民セラピーデー（無料）は利用者が固定化しており、他のアクティビティを絡めた新たな集客が必要。</li> </ul>				

R4年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 町民利用者が固定化しており、他のアクティビティを絡めた新たな集客の検討が必要。				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものレクリエーションに最適な天木森林公園コース、福祉のロードとして車椅子が利用できる横瀬渓谷コースをPRし、町民の利用を促進する。</li> <li>・町福祉課と連携して、健康ポイント事業を継続する。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	看護師確保対策の強化	所属	智頭病院	SDG s		
事業（細目）名	看護師奨学金制度	事業番号				
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし				
	視点	健康	事業番号	15	連番	48

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	奨学金活用者の看護師免許取得や入職に結びつける。
Plan(事業概要・計画)	看護学校等在学者への新規奨学金利用の呼びかけと、現受給者への支援継続。

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額		540,000円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
①	新規奨学金受給者	人	0	3	0	#DIV/0!
②	継続奨学金受給者	人	1	2	0	0%
③	智頭病院就業者	人	1	1	1	100%
実施内容	新型コロナウイルス感染拡大により、PRの機会が減少。 看護師養成機関に対しパンフレットを配布。					

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	既就業者が看護師資格を取得するなどの成果が出ている。 学生の新規受給の申し込みがない状況である。					

R4年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 資格取得や新規入職に寄与している。				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
看護学校在学生への奨学金利用の呼びかけと、東部の高等学校への奨学金制度のPRにより新規利用を募る。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	医療設備・機器の整備	所属	智頭病院	SDG s		
事業（細目）名			事業番号			
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし				
	視点	健康	事業番号	16	連番	49

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	医療設備・機器の計画的な整備・更新
Plan(事業概要・計画)	多目的デジタルX線TVシステム、診断用X線撮影システム、キャノ超音波画像診断装置、電話交換機設備 厨房・洗浄室エアコン設置工事、内視鏡スコープ、多用途透析用監視装置 他

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額	92,000千円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	器械備品減価償却率	%	78	78	78	100%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	多目的デジタルX線TVシステム、診断用X線撮影システム、キャノ超音波画像診断装置、電話交換機設備 厨房・洗浄室エアコン設置工事、内視鏡スコープ、多用途透析用監視装置 他					

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	順次機器の更新を行うことが出来ている。					

R4年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 必要な機器の整備と更新を行うことが出来た。				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	診療に必要な機器の整備を計画的に行うことができています。 施設の老朽化に対する対応を計画的に実施する必要がある。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	医師確保対策の強化	所属	智頭病院	SDG s		
事業（細目）名			事業番号			
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし				
	視点	健康	事業番号	17	連番	50

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	病院事業継続のため医師確保を図る。
Plan(事業概要・計画)	鳥取県・鳥取大学、その他関係機関への医師派遣要請 院内保育所の整備、医師住宅の確保 研修医、実習生への広報

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額		518,938千円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
①	研修医の受入	人	3	3	3	100%
②	学生の受入	人	0	1	0	#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	研修医の受入時に智頭病院と智頭町での取組等をPRすることが出来た。					

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	県派遣医師については、一定数を確保することは出来ている。 各機関へ医師確保の要請を継続した事により、新年度鳥取大学医学部から内科医の配置に結びついた。					

R4年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：さらなる働きかけが必要。				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	若手、中堅、の医師確保のための取組の継続と、新たな視点が必要。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	情報インフラの更新	所属	企画課	SDG s	9
事業（細目）名	地域情報化推進事業	事業番号	1879		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	3	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	地域間の情報格差是正のため整備した光通信網の維持活用
Plan(事業概要・計画)	<p>○光通信網の維持管理、安定したサービス提供の実施。</p> <p>○新IP告知端末を活用した新たな住民サービスの提供。</p> <p>（地域の住民が日常的に使用することができる利便性の高いサービスの提供。）</p>

R4年度（年度末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額	146,986,780円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	光通信網の維持管理、安定したサービス提供の実施	件数	2,411	2,411	2,372	98%
②	新IP告知端末を活用した新たなサービスの提供	件数	0	4	2	#DIV/0!
③	新IP告知端末操作にかかる相談会の開催	件数	0	8	12	#DIV/0!
実施内容	<p>○新IP告知端末の安定的なサービスの提供並びに新サービスの整備（AI乗合タクシー、図書館システム連携）</p> <p>○工事分担金の一部補助・減免による利用者の負担軽減。</p> <p>○新IP告知端末の操作方法・困りごと等に関する相談会の実施。</p>					

R4年度（年度末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>○新IP告知端末の利用に関する相談受付や個別相談案件に応じた現場作業の実施によるサービスの安定化に務めている。高齢者のデジタルディバイド対策として、引き続き相談会の実施や利用促進に向けた広報活動等が必要。</p> <p>○新サービスの提供に向けた準備のほか、関係者との連携が必要。（チラシ機能・買い物支援・図書館システム連携等）</p>					

R4年度（年度末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：クラウド型になり、汎用性が高くなったが操作方法が難しいという意見もあるため、操作方法の出張説明会は継続して実施すること。				

R4年度（年度末に記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>○新型コロナウイルス対策を想定した新しい生活様式へ対応したアプリのUI改善の実施、現在準備中のサービス（買い物支援・チラシ機能等）の早期リリースを図る。また、安定したサービスの提供はもとより地元企業との連携などを検討し、地域経済の活性化・住民生活の利便性向上を図る。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	道路新設改良事業	所属	地域整備課	SDG s	9	
事業（細目）名	道路新設改良事業	事業番号	1171			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	5	連番	54

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	大内木下地区の急傾斜地崩壊対策の早期完成
Plan(事業概要・計画)	降雨や地震などに伴って発生する崖崩れ災害に対し、急傾斜地崩壊対策施設を鳥取県が施工。

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)		R4実績額	193,574円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	全体事業の進捗状況	%	95	100	99	104%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	大内木下地区の急傾斜地崩壊対策施設を鳥取県が施工。					

### R4年度（年度評価を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	住民の生命・財産が守られている。					

### R4年度（年度評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 地域住民の生命・財産保護のために必要不可欠な事業。				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<p>継続して行ってきた大内木下地区の工事が一段落し、5年度は工損調査（事後）を行い完了予定（県事業）。今後も地元要望など、必要に応じ事業化を県に訴える。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	社会資本整備総合交付金	所属	地域整備課	SDGs	9
事業（細目）名	社会資本整備総合交付金	事業番号	1336		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	5	連番

### R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	計画的な町道の改良整備
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町道を整備し、住民の生活環境の向上、通学通勤時の安全確保、利便性の向上を図る。</li> <li>・ 町道除雪を委託し、冬期における住民の安全を確保する。</li> </ul>

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>	137,473,847				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	施工路線数	本	6	8	6	100%
②	除雪委託費	千円	18,660	9,000	20,918	112%
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三田中田線、市瀬新道線の測量設計業務を実施。</li> <li>・ 下向線、三田中田線、関屋黒本線、源平線の道路改良工事の着手。</li> <li>・ 下向線の用地補償及び移転補償の実施。</li> </ul>				

### R4年度（年度評価を記入）

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の事業実施の参考のため、候補となる路線をリストアップする必要がある。</li> <li>・ 社会資本整備総合交付金事業（P16）三田中田線に関しては事業が完了。</li> </ul>				

### R4年度（年度評価を記入）

<b>評価</b>	A	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 生活環境の改善、利用者の安全確保に繋がる。				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>R4年度は新規3路線の改良に着手。5年度は継続となる路線のみだが、一区切りとなる路線もあることから、道路台帳現地調査業務で得た成果などを基に、今後改良が必要と思われる路線の洗い出しが急務である。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地方創生整備推進交付金事業	所属	地域整備課	SDG s	9
事業（細目）名	地方創生整備推進交付金事業	事業番号			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	5	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	町道奥本河津原線の道路改良、拡幅工事。

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R4実績額	9,576,300円				
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
①	道路改良、拡幅工事	路線	2	1	1	50%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	町道奥本河津原線の道路改良工事を実施。					

R4年度（年度評価を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	現在の地域再生計画が令和6年度までの計画であり、以後他の補助金を検討するのか。新規に、鳥取県と共同で地域再生計画を策定するのか検討が必要となる。					

R4年度（年度評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 基幹林道へのアクセス向上と町道の利便性向上が図れた。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
本事業の実施には、接続する林道の整備を同一計画の中で県が行うことと、計画の整備が必要となってくることから、様々な調整が必要となる。	
5年度については、継続して奥本河津原線の改良を行う。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	道路維持事業	所属	地域整備課	SDG s	9
事業（細目）名	道路維持事業	事業番号	1170		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番

R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	町道の適切な維持管理を行い、住民の安全確保を図る。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町道の維持管理を行い、住民生活の利便向上と安全確保を図る。</li> <li>・ 除草等の町道維持を行う集落・団体に交付金を交付する。</li> </ul>

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>	23,619,471円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	修繕費・工事費	千円	20,164	26,253	23,619	117%
②	道路愛護	件	6	10	13	217%
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町道中田線道路修繕、町道山田線舗装修繕 外</li> <li>・ 町道段線横断溝修繕工事、町道大目谷線側溝修繕工事 外</li> <li>・ 道路等愛護事業 13件申請 ・ 道路台帳現地調査業務</li> </ul>				

R4年度（年度評価を記入）

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 維持修繕により、損傷箇所や危険箇所の解消。</li> <li>・ 軽微な損傷等については、職員による直営修繕を実施。</li> <li>・ 道路台帳現地調査業務により、町道や町道沿線状況の変化が把握でき、台帳修正要否の判断材料となった。</li> </ul>				

R4年度（年度評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 利用者の利便性向上と安全確保				

R4年度（年度末改善方針を記入）

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>住民生活の利便性向上と安全確保のため、引き続き同様の維持管理を行っていく考えであるが、度重なる自然災害や集落の高齢化などから地域からの要望も多様化してきており、その対応に苦慮しているところである。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共施設等適正管理推進事業債事業	所属	地域整備課	SDG s	9
事業（細目）名	公共施設等適正管理推進事業債事業	事業番号	2095		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町道の舗装修繕を実施し、住民の生活環境の向上を図り、住民の安全・安心を守る。
Plan(事業概要・計画)	町道の点検を実施し、点検結果に基づき対象となる路線の舗装修繕（切削オーバーレイ等）を行う。 町道奥本河津原線

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R4実績額	17,299,700円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	施工路線数	6	1	1	17%
②					#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容	奥本河津原線の舗装工事				

R4年度（年度評価を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	奥本河津原線の舗装工事完成。					

R4年度（年度評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 利用者の利便性向上と安全確保。生活環境の改善が図れた。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
事業的には必要ではあるが、5年度は財政面で有利な他事業で実施する。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	緊急自然災害防止対策事業	所属	課	SDG s	9	
事業（細目）名	緊急自然災害防止対策事業	事業番号	2103			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番	55

R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	5箇年加速化対策事業と同一路線または接続路線において舗装修繕を実施することで対象エリア、路線の事業効果の増進を期待する。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	・5箇年加速化対策事業（道路メンテナンス補助事業を含む）と同一路線又は接続路線において舗装修繕を実施することで対象エリア、路線の事業効果の増進を期待する。（国事業期間：令和3年度～令和7年度） →芦津線、奥本大背線、古鼠線、毛谷大内線

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

<b>Do(実行)</b>	R4実績額	16,288,800円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 施工路線数	路線数	0	4	3	#DIV/0!
②					#DIV/0!
③					#DIV/0!
<b>実施内容</b>	町道奥本大背線、町道毛谷大内線、町道芦津線の舗装修繕工事を実施。				

R4年度（年度評価を記入）

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	1路線について、工事の実施を見送った。路線の選定においては、熟慮する必要がある。					

R4年度（年度評価を記入）

<b>評価</b>	A	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
<b>評価</b>	A	<b>評価理由：</b> 利用者の利便性向上と安全確保。生活環境の改善が図れた。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
事業実施には対象路線に限られるなど条件がつくが、町道整備（大規模舗装修繕）には欠かせない事業であることから、対策が必要な路線を洗い出し、計画的な整備を継続する。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	道路メンテナンス補助事業	所属	地域整備課	SDG s	9	
事業（細目）名	道路メンテナンス補助事業	事業番号	2094			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番	55

R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	町道橋梁の計画的な点検・補修による長寿命化を図る。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	町道橋梁の計画的な法定点検（5年に1回）を実施し、適切な橋梁補修を行う。 定期点検結果を踏まえた長寿命化計画の策定・更新。

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>	141,855,800円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 橋梁修繕工事	橋	5	6	3	60%
② 橋梁長寿命化修繕計画策定	式	0	1	1	#DIV/0!
③					#DIV/0!
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城戸橋、夏原橋、紅葉橋について修繕工事着手。城戸橋、紅葉橋については工事完了。</li> <li>・波多支線1号橋、十日市橋、錦橋、夏原橋の修繕工事設計業務委託を実施。</li> <li>・橋梁長寿命化計画の策定を実施。</li> </ul>				

R4年度（年度評価を記入）

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算を行った際、概算額を大きく上回る場合がある為、予算計上の時点・工事発注見込みの時点においては熟慮する必要がある。</li> <li>・事業が進み、修繕未対応の健全度Ⅲと判定された橋梁が減ってきている。</li> </ul>					

R4年度（年度評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 事業費の見込みが困難で、計画どおりとならない。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
概ね、対策が必要と判定された物件については、対応済みとなってきている。 本事業は、診断結果（健全度）による修繕となるが、活用頻度と修繕に要する費用が見合わない案件も見受けられる。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ふるさと整備土木事業	所属	地域整備課	SDGs	9
事業（細目）名	ふるさと整備土木事業	事業番号	1778		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	7	連番

R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	集落の生活環境の向上・維持
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	・集落の生活環境の向上・維持するため、地元管理の道路及び水路等について整備・改良を行う。

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>	6,910,200円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	実施件数	件	7	6	7	100%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>	申請件数11件 採択件数7件					

R4年度（年度評価を記入）

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	予算の範囲内で採択集落を決定。工事の性質等を考慮し、農繁期等を避けるなど、発注のタイミングを考慮した。					

R4年度（年度評価を記入）

<b>評価</b>	A	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 地域住民の快適な生活と営農の効率化が図れた。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	現行の事業内容に類似するものの、採択要件にそぐわない要望が多くなってきていることから、新規事業（補助事業）の整備を検討し、住民の生活環境の更なる改善を図る。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	営業費用	所属	税務住民課	SDG s	6
事業（細目）名	修繕料	事業番号			
総合計画	基本理念	老朽管の更新を行い、長寿命化を図る。			
	視点	環境整備	事業番号	11	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	老朽管の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設更新計画を基礎として、継続的、計画的な施設の更新をおこなう。</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額	3,300,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	大目谷川砂防工事に伴う支障水道管移設工事設計業務	千円	0	3,652	3,300	#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水本管の漏水修繕工事を実施。今後、施設更新のための詳細設計を行い、計画策定後に順次更新。</li> </ul>					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>大目谷川砂防工事に伴う支障水道管移設工事設計業務を行った。</li> </ul>					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：支障水道管移設工事設計業務を行った。				

R4年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度策定済の施設更新計画（短期10年）を基に、詳細設計を行い、順次更新を行って行く。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	建設改良費	所属	税務住民課	SDG s	6
事業（細目）名	改良費	事業番号			
総合計画	基本理念	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。			
	視点	環境整備	事業番号	12	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設更新計画を基礎として、継続的、計画的な施設の更新をおこなう。</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	第2水源地ポンプ室扉修繕	千円	563	0	0	0%
②	第1水源地電気設備修繕	千円	563	0	0	0%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、施設更新のための詳細設計を行い、計画策定後に、順次更新していく。</li> </ul>				

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度に施設更新計画（短期10年）を策定した。</li> </ul>				

R4年度（年度末評価を記入）

評価	E	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	E	評価理由： 令和4年度に施設更新計画を策定のため				

R4年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度策定済の施設更新計画（短期10年）を基に、詳細設計を行い、順次更新を行って行く。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	国・県・町の連携による通学路等の整備検討	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名			事業番号		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	13	連番 60

R4 年度

<b>Goal(目標)</b>	児童生徒が安全に通学できるよう、通学路等の整備検討を行う。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校とPTAが協力をし、通学路の安全点検を行う。</li> <li>・点検結果に基づき、危険個所の把握及び合同点検を行う。</li> <li>・整備個所を検討する。</li> </ul>

R4 年度

(単位：円)

<b>Do(実行)</b>	<b>R4 実績額</b>	0円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	合同点検日数	日	1	1	1	100%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みを活用し、関係機関で合同点検を行った。</li> </ul>				

R4 年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険個所の把握及び改良点等の検討を行った。</li> </ul>				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 関係機関が連携し、登下校ルート of 安全を確保している。				

R4 年度

<b>Action(改善)</b>	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
<p>小中学校及び保護者等の意見をとりまとめ、総務課が実施する交通対策会議と連携し、児童の登下校の安全確保に努める。</p>	

# 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	安全・安心な町民バスの運行、更新	所属	企画課	SDG s	11
事業(細目)名	コミュニティバス運行事業		事業番号	1634	
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	15	連番 61

R4年度(4月記入)

Goal(目標)	老朽化が著しい車輛の更新のほか、安心・安全な公共交通サービスを提供する。
Plan(事業概要・計画)	<p>○町民バス(すぎっ子バス)の適正運行、○新交通体系構築に向けた組織体制・運行体制の整備(料金体系、運行体制確立・ドライバー募集・交通空白地有償運送登録)</p> <p>○全町でのAI乗合タクシーの実証実験の実施(プレ運行)</p>

R4年度(年度末に実績見込を記入)

Do(実行)	R4実績見込額		51,644,863			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	町民バス事故・苦情件数	台	6	3	3	50%
②	共助交通導入・スクールバス化の検討/説明(関係者協議)	回	7	18	13	186%
③	AI乗合タクシー実証実験利用者数	人	221	500	741	335%
実施内容	<p>○町民バスの安全運行</p> <p>○共助交通導入及びすぎっ子バスのスクールバス化に向けた協議・検討の実施(関係課・シルバー・日ノ丸・共助交通組織構成員等)</p> <p>※昨年度実証実験の課題解決を踏まえたシステム改修に伴い、AI乗合タクシー実証実験についてはR5.1.23~2.19実施。</p>					

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>○車両の老朽化に伴う故障が発生する中、交通サービスが停止しないよう代替車両を準備して運行体制を確保。また、安定的並びに安全な運行を実施するため、随時交通法規の遵守・ドライバーの教育・指導を実施。</p> <p>○令和5年度共助交通本格導入に向け、組織の立ち上げや有償運送登録の申請手続きのほか、各集落での説明会等を行い、共助交通の周知・利用促進に務めている。</p>					

R4年度(年度末に記入)

評価	B
----	---

担当課長評価

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

評価理由:	R4年度全町実証実験を経て、R5年度本格運行となるが、想定外のアクシデントも考えられるため、しっかりした準備を整えたうえで本格導入を目指す必要がある。しかし、本町での持続性の高い公共交通システムとなることは確実である。
-------	---

R4年度(年度末に記入)

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>○共助交通の認知度・利用拡大に向けた周知。(IP告知端末での予約推進、商工会との連携による利用促進サービスの検討)</p> <p>○県の補助制度等を活用した共助交通の運営、安定的な運行サービスを維持するための住民ドライバーの確保。</p> <p>○住民ニーズに対応したシステムの改修、サービスの拡充。ドライバー教育等の随時実施による安心安全な交通サービスの提供。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共交通機関の利用促進	所属	企画課	SDG s	11
事業(細目)名	交通政策事務費	事業番号	1636		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	16	連番 62

R4年度(4月記入)

Goal(目標)	町民が利用しやすい公共交通を検討し、公共交通の利用促進に繋げる。
Plan(事業概要・計画)	<p>○公共交通の利用促進に向けたPR活動の実施(従来活動の見直し)</p> <p>○広域連携事業の課題・問題点を抽出</p> <p>○公共交通空白地有償運送運行支援の実施</p>

R4年度(年度末に実績見込を記入)

Do(実行)	R4実績見込額	408,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	各種協議会への負担金支払い・協議会参加	団体	5	5	5	100%
②	連携中枢都市圏広域連携事業への参加	事業	8	7	7	88%
③	公共交通空白地有償運送サービス利用者の年会費負担	人	84	84	69	82%
実施内容		<p>○各協議会への負担金を通じて、公共交通利用促進に向けた広報・普及活動を実施</p> <p>○連携中枢都市圏における広域連携事業の計画等を審議(公共交通分野)</p> <p>○シルバー人材センターに対し公共交通空白地有償運送サービス利用者が負担する年会費の半額相当を支援</p>				

R4年度(年度末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>○沿線市町が連携して公共交通利用促進に向けた啓発資材を配布するなどの広報・普及活動により、幅広い世代に公共交通への関心を高めたほか、「公共交通乗ってecoh!県民運動」、夏休み公共交通エンジョイキャンペーンと題した「SNSフォトコンテスト」の実施など新たな利用促進活動を展開している。また、各種公共交通における現状の課題を共有し、今後の取り組みについて意見を交わすことができた。</p>				

R4年度(年度末に記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	<p>評価理由： 共助交通により、住民の交通手段の確保は維持できるが、鉄道などは本町のみで対応することは難しいため、沿線自治体との連携を強化すること。</p>				

R4年度(年度末に記入)

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<p>○公共交通を取り巻く環境は厳しさを増していく中で、交通体制の維持・確保は喫緊の課題となっている。既存交通の在り方の検討・利用促進に向けた動きを加速させるなど、関係団体・自治体と連携してより良い公共交通体制の構築並びにサービスの充実に図っていくための課題共有・効果検証を進めて行く必要がある。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	除雪事業	所属	地域整備課	SDG s	9
事業（細目）名	除雪事業	事業番号	1295		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	17	連番

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	冬期交通の確保を目的に、町道等の除雪を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>除雪計画に基づき、冬期積雪時の生活道路の除雪を行い、地域住民の安全安心に寄与する。</li> </ul>

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R4実績額	69,376,697円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	除雪委託料	千円	52,584	26,327	69,376	132%
②	除雪機械運転手育成支援金	人	1	6	5	500%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>除雪計画の策定（町道74路線、林道3路線、農道3路線、その他3路線、県道応援除雪2路線、7施設）</li> <li>除雪期間12月1日～3月20日まで</li> <li>集落等へ小型除雪機貸与事業 ・ 運転手育成支援事業 ・ ホイールローダ4t級購入</li> </ul>				

### R4年度（年度評価を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>例年の除雪状況や住民要望等を踏まえ、除雪路線を追加し委託ブロックの再編を行い、作業の効率化を図った。</li> <li>運転手育成支援事業において6名の申請があり、除雪作業の担い手育成が図ることが出来た。</li> <li>小型除雪機貸与事業において25集落の申請に対し6集落へ貸与を行い、コミュニティ除雪の促進を図った。</li> </ul>				

### R4年度（年度評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 昨シーズンの大雪を受け、除雪路線の見直しなどを行う。				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>これまで集落の反対により町除雪を行っていなかったエリアでも、地域の高齢化や不在空き家・店舗等の増加から、公共除雪を望む声が大きくなりつつあることから、周辺環境の把握した上で除雪計画を見直したり、小型歩道除雪機の無償貸与など、引き続き共助除雪の支援を行っていく。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート【R4年度実績検証用】

事業名	鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制の維持・充実	所属	総務課	SDG s	9	
事業（細目）名	常備消防費	事業番号	1178			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	23	連番	64

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制を維持する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防・救急体制を充実させる。（東部広域行政管理組合への負担金支払い）</li> <li>・ 智頭出張所排水施設工事</li> </ul>

### R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額	126,789,000			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①					#DIV/0!
②					#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部広域行政管理組合事業のため、未記載とする。</li> </ul>				

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部広域行政管理組合への負担金支払いを行った。</li> <li>・ 智頭出張所排水施設工事は次年度に繰越となった。</li> </ul>					

### R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	A	評価理由：東部広域行政管理組合へ遅滞なく負担金を支払った。				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部広域行政管理組合の方針による。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート【R4年度実績検証用】

事業名	災害対策体制の確立	所属	総務課	SDG s		
事業（細目）名	防災費	事業番号	1181			
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりでつくるまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	24	連番	65

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	災害による死傷者を発生させない
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国土強靱化地域計画の個別業務計画改訂</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額	66,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①						#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国土強靱化地域計画の個別業務計画改訂（1月末完了）</li> <li>・ web版ハザードマップ運用</li> </ul>					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国土強靱化地域計画の個別業務計画改訂（1月末完了）</li> </ul>					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 国土強靱化地域計画の個別業務計画改訂が完了できた。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県のデータ更新に応じてマップの更新を行う。</li> <li>・ 支え愛マップづくりとからめ、防災マップの活用に注力する。</li> <li>・ 国土強靱化個別事業の見直しにより、全庁的に国土強靱化への取組を共有する。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全安心につながる見守り事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	日常生活用具給付事業	事業番号	1308		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

### R4年度

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活用具（電磁調理器等）購入費の給付</li> </ul>

### R4年度

Do(実行)		R4実績額	0円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	電磁調理器購入費給付数	件	0	1	0	#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な世帯等への事業の説明等</li> </ul>				

### R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>電磁調理器や火災報知器等の購入について、補助事業に関する相談等はあるが、給付に至っていない。高齢者の安全な在宅生活のため、今後も継続して必要な事業である。</li> </ul>				

### R4年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：周知方法等を検討する必要がある。				

### R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発方法等について、再度検討する。</li> <li>給付対象となる品目の見直し等、引き続き、検討する。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全安心につながる見守り事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	高齢者等居住環境整備助成事業	事業番号	1469		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R4年度

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が在宅で安心して暮らせるよう住宅改修費の一部を助成する。</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額	754,000円
活動実績を示す指標		対前年比(%)
①	高齢者等居住環境整備助成事業補助金	#DIV/0!
②		#DIV/0!
③		#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が必要な対象世帯等への事業の説明、助言指導を行い、改修後現地を確認後、償還払いを実施。</li> </ul>	

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数件ではあるが、補助金の利用もあり、在宅生活には必要な補助事業となっている。</li> </ul>					

R4年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 継続実施する必要がある。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者にとっては申請や実績報告の提出が非常に難しくなっているので、簡素化を図るなどの検討が必要</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全安心につながる見守り事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3	
事業（細目）名	支え愛体制づくり事業	事業番号	1991			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	25	連番	66

R4年度

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各集落で支え愛マップを作成し、有事の際の高齢者等の安全を確保する。</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額	50,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	支え愛マップ作成集落（補助事業対象）	集落	2	3	0	0%
②	支え愛マップ作成集落（合計）	集落	60	63	60	100%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な集落等への事業の説明等</li> <li>作成に要する経費を町社協に対して補助する。</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>新規で作成した集落もあり、地域の支援体制づくりのために必要な補助事業となっている。</li> <li>当初の作成から年数が経過した集落への見直しの呼びかけを行っているが、作成にあたっての支援の要望がある。</li> </ul>				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：マップの新規、更新等、継続する必要がある。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>未作成集落への呼びかけを継続的に行っているが、前向きでない集落もある。引き続き、啓発が必要。</li> <li>新規作成だけでなく、見直し等の呼びかけも継続的に行う。</li> <li>マップの見直しを行う集落を補助対象に加えるなど、制度の拡充を引き続き検討する。</li> </ul>	

# 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	自死対策事業	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	自死対策事業	事業番号	1913			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-1	

R4年度

Goal(目標)	誰もが自死に追い込まれることなく健康で生きがいをもって暮らすことができる。
Plan(事業概要・計画)	<p>自死対策計画に基づいて事業運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自死対策を支える人材の養成</li> <li>・ 町民への啓発と周知</li> <li>・ 相談体制の整備と関係機関との連携強化</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額				78,015円	
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	自死者数	人	0	0	0	#DIV/0!
②	人材育成者数	人	32	40	135	422%
③	普及啓発物配布数	個	600	600	600	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自死者数 0 人</li> <li>・ 人材育成者数 135人</li> <li>・ 普及啓発物 600個作成、600個配布</li> <li>・ 9月自殺予防週間に普及啓発活動の実施</li> <li>(告知端末放送、広報・ホームページ掲載、図書館・ほのぼの内掲示等)</li> <li>・ 「児童・生徒のSOSの出し方に関する教育」実施に向けての小・中・高等学校と協議</li> </ul>					

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲートキーパーを増やすため、令和4年度は役場職員を対象に養成講座を行った。</li> <li>・ 若者の自死予防は全国的にも課題である。町内小・中・高等学校児童・生徒に対し、夏休み明けに啓発用のリーフレットを作成・配布。令和5年度以降、児童・生徒のSOSの出し方に関する教育を実践できるよう、町内小・中・高等学校と協議を行った。</li> </ul>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：小中学校での授業など啓発を拡大する必要がある。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関と連携しながら、ゲートキーパー等の人材育成を継続する。</li> <li>・ 若者の自死予防対策の一環として、町内小・中・高等学校関係者との連携を強化し、普及啓発活動を発展させる。</li> <li>R5は智頭中学校3年生にSOSの出し方に関する教育を実施する予定。</li> <li>・ 住民に対する相談先の周知を強化する。</li> </ul>						

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	健康ポイント事業	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	健康ポイント事業	事業番号	2023			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-2	

R4年度

Goal(目標)	健康ポイント事業を通して健康への意識を高め、元気で長生きできるまちづくり
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキンググループへの登録通知（4月）</li> <li>・広報で住民に周知（4月）</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額	203,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	ポイント引き換え者数	人	148	150	170	115%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキンググループへの登録通知（4月）</li> <li>・ウォーキング実施者にウォーキングポイントを付与</li> <li>・広報で住民に周知（4月）</li> <li>・達成者の中から抽選で5名に杉小判5,000円プレゼント</li> <li>・20ポイント達成者には杉小判1,000円と引き換え</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>個人でのウォーキング実施が定着し、新規参加者が増加。</p> <p>個人でのウォーキング実施に対するポイントの付与制度をより周知して頂く為に、さらなる広報活動が必要。</p>				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：参加者が増加し、健康意識の向上につながっている。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でのウォーキング実施者に対するポイントの付与制度を広報及ホームページ掲載により住民に周知。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ぜん息児等機能回復支援事業	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	ぜん息児等機能回復支援事業	事業番号	1419		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-3

R4年度

Goal(目標)	温水プールを利用することにより身体の機能回復を促進し、健康で明るい生活を送る
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者への助成券の発行</li> <li>・広報で住民に周知（4月号）</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額	268,340円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	利用者数	人	160	204	65	41%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者への助成券の発行</li> <li>・広報で住民に周知（4月号）</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>令和4年7月19日から温水プールの利用が不可となり、利用人数が減少した。</p> <p>9月1日の智頭温水プール利用料助成事業実施要綱の改定に伴い、利用料の半額助成を7割助成に変更。また、プール利用に限定せず、施設内のスタジオやジムを使ったトレーニングについても助成対象とすることで身体活動の増加を図った。</p>				

R4年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：プールの使用不能制に対応して、制度改正を行い利用者の増加を図ったが、利用は減少した。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
引き続き広報等で周知を行う。	
智頭温水プール利用料助成事業実施要綱の改定に伴い、利用料の7割を助成する。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	歯科保健事業	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	歯科保健事業	事業番号	1110		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-4

R4年度

Goal(目標)	口腔の健康の保持・増進、歯科口腔保健に関する健康格差の縮小
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児を対象とした歯科健康教育の実施</li> <li>・ 歯科保健情報交換会の開催</li> <li>・ 乳幼児歯科健診要指導、要治療者への受診勧奨、フォロー</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績額					120,410円
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	歯科健康教育の実施	回	12	12	12	100%
②	歯科情報交換会の開催	回	0	0	0	#DIV/0!
③	要指導者への受診勧奨、フォロー	人	3	3	2	67%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳歯の虫歯は永久歯にも影響するため、保育園で幼児を対象に健康教育を実施し、保護者への啓発も行う。</li> <li>・ 広報紙、告知端末等で住民へ周知し、歯周疾患検診（40.50.60.70歳の節目健診）及び後期高齢者歯科健診の受診者の増加を図る。</li> <li>・ 歯科医、学校歯科保健関係者、教育課等の関係機関との歯科情報交換会を行い、智頭町の歯科保健対策を包括的に実施できるようにする。</li> </ul>				
Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園で幼児を対象に歯科健康教育を毎月1回行い、保護者への啓発を実施（延べ706名）。</li> <li>・ 歯周疾患検診及び後期高齢者の歯科健診について広報紙、告知端末等周知を行い、歯周疾患受診者数が増加。（歯周疾患検診受診者49名、後期高齢者歯科健診受診者3名）</li> <li>・ 歯科情報交流会はコロナ感染防止のため、今年度の開催は中止とした。</li> </ul>				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：啓発を継続し、受診者を増加させる必要がある。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯周疾患検診の受診率は20%に満たない現状であるため、未受診者勧奨等を行い受診者を増やす取り組みが必要。後期高齢者の歯科健診についても受診者を増やすための周知方法等を見直す必要がある。</li> <li>・ 歯科情報交流会については、町の課題を明確にし、関係者で検討できるように準備をしておく。</li> </ul>					

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各種予防接種	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	任意予防接種	事業番号	1093		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-5

R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	感染症の予防
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児インフルエンザは対象者（1歳～12歳）に個別通知（9月）。</li> <li>・流行性耳下腺炎の助成は乳児健診の際に周知（毎月）。</li> </ul>

R4年度

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>	804,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	小児インフルエンザ接種人数	人	368	400	254	69%
②	助成申請した者の流行性耳下腺炎接種者数	人	8	13	14	175%
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児インフルエンザは9月末ごろに個別通知。</li> <li>・流行性耳下腺炎の助成は乳児健診の際に周知。</li> </ul>				

R4年度

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成額の増額により、任意予防接種を経済的に接種しやすくするための体制を整えている。</li> <li>・告知端末や広報を用いて周知を図るとともに、事業の普及を図っている。</li> </ul>				

R4年度

<b>評価</b>	B	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
<b>担当課長評価</b>						
<b>評価</b>	B	<b>評価理由：</b> 啓発を継続し、事業の周知を図る必要がある。				

R4年度

<b>Action(改善)</b>	<p style="text-align: center;">R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、任意予防接種を経済的に接種しやすくするための体制を維持するため、同様の助成額を維持する。</li> <li>・引き続き、接種を希望する対象者が、接種機会の逸することがないように事業の周知を図る。</li> </ul>
-------------------	--

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	障がい者歯科診療所運営支援事業	所属	福祉課	SDG s		
事業（細目）名	障害者福祉費	事業番号	1385			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-6	

R4年度

Goal(目標)	障がい者の口腔健康の維持・向上を図る
Plan(事業概要・計画)	障がい者に対して歯科診療、歯科保健指導等を行う障がい者歯科診療所の運営に要する経費の一部を、鳥取県東部圏域の1市4町共同で補助することにより、障がい者の口腔健康の維持・向上を図り、障がい者福祉の増進に資することを目的とする。

R4年度

Do(実行)		R4実績額	7,000円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	歯科診療	日	43	45	45	105%
②	保健指導	日	39	39	39	100%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週木曜日午後に鳥取県口腔総合保健センターにて歯科医師会所属の医師が診療を行う。</li> <li>・毎週火曜日午後に鳥取県口腔総合保健センターにて歯科医師会所属の医師が保健指導を行う。</li> <li>・令和4年度の智頭町からの利用は5名。</li> </ul>					

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>当事業で実施している診療を東部圏域外の市町村からも利用している者がおり、その分の実績を各市町村が按分して追加負担している状況であり、費用が適正とは言いがたい点がある。利用実績が少ないため事業の周知が課題である。</p>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：利用者の増加を図るため、啓発を継続する必要がある。				

R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	各市町村の負担の公平性を保つため、過年度中に、取りまとめを行う鳥取市より利用者がある東部圏域外の市町村へも費用負担をしてもらうよう依頼を行ったが合意には至らなかった。今後も利用状況を確認し、継続して利用があるようであれば、再度負担を求める事を他市町と協議し検討する。対象者への周知徹底を行うため広報活動に努める。

# 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	みんながみんなを支える持続可能な交通システム構築事業	所属	企画課	SDGs	11
事業(細目)名	地方創生推進事業	事業番号	2032		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	新	連番 II-7

R4年度

Goal(目標)	すべてに人に寄り添える持続可能な交通体系の構築
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○智頭町地域公共交通計画を基に新たな交通体系の構築や共助交通の導入に向けた組織体制づくり</li> <li>○次世代IP告知端末×AIデマンドバスサービス外部連携によるAIデマンドバス実証実験の実施(全地区)</li> <li>○共助交通を導入している先進地の視察</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R3実績額		17,130,048円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	関係団体との意見交換・課題抽出	件数	9	6	13	144%
②	AIデマンドバス実証実験実施	地区	2	6	6	300%
③	共助交通導入自治体への先進地視察	団体	0	1	1	#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共助交通導入に向けた運営組織の体制づくりの検討(各種交通事業者・地域自治組織等との連携)</li> <li>○全地区においてAI乗合タクシーの実証実験を1月～2月に実施</li> <li>○共助交通導入先進地視察の実施</li> </ul>					

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共助交通導入に向け、町・地区振興協議会・観光協会・シルバー人材センターを構成員とする運営協議会を発足し、運行体制を確立。プレ運行という形で冬季実証実験を行い、本格運行への機運醸成を図った。</li> <li>○AI乗合タクシー実証実験を通して告知端末の操作性や運行体制の課題点等を検証。今後はR5本格導入に向け、システムバージョンアップによるUI向上、新たな交通体制施策としての住民への効果的な周知・説明が必要。</li> </ul>					

R4年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：課題はあるものの地域公共交通計画に基づき、実現に向け計画通りに進捗している。本格運行に向けしっかりと準備すること。				

R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
○本格運行導入時の安定的な運行体制の確立に向け、随時住民ドライバーの募集を行い、地域住民の移動ニーズに対応する。○令和4年度事業での課題点解消に向け、乗降ポイントの見直しや利便性向上に向けたシステムバージョンアップを図る。○広報活動を通じて共助交通「のりりん」の認知度を高め、R5本格導入に向けたスムーズに移行体制を構築する。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート【R4年度実績検証用】

事業名	行政手続きのスマート化	所属	総務課	SDG s	11	
事業（細目）名	行政情報システム推進費	事業番号	1517			
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	② 環境整備	事業番号	新規	連番	II-8

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	テレワーク環境整備及び行政手続きのスマート化
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務系システムのネットワークをLGWAN系に配置するαモデル化の実施</li> <li>・新たなテレワーク環境整備検討</li> <li>・電子申請システムの有効活用</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額	0				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	αモデル化移行進捗率	%	0	100	75	#DIV/0!
②	テレワーク環境構築率	%	0	100	75	#DIV/0!
③	電子申請システム取扱事務数	件	6	10	11	183%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・αモデル化の環境構築を行った。（繰越事業）</li> <li>・職員のテレワーク環境の構築を行った。（繰越事業）</li> <li>・電子申請システムの登録方法を学び、職員に普及していった。（期間満了により、非公開となったものも含む）</li> </ul>				

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・αモデル化環境構築中</li> <li>・職員テレワークシステム環境構築中</li> <li>・職員に対する電子申請システムの普及は実施したが、まだまだ浸透しておらず、様式の拡充が乏しい。</li> </ul>				

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：αモデル化移行準備が整ったため。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
αモデル化への円滑な移行。 職員のテレワーク実施。 電子申請システムの様式を増加及び、住民への周知。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート【R4年度実績検証用】

事業名	町有財産の適正な管理	所属	総務課	SDG s	11
事業（細目）名	財産管理費	事業番号	1007		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	② 環境整備	事業番号	新規	連番 II-9

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町有財産の適正な管理と、PFI導入検討による民間活力の活用を検討
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FM委員会、PFI検討委員会の開催</li> <li>・ 個別施設計画の策定と公表</li> <li>・ 固定資産台帳の整理</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額	0円
活動実績を示す指標	単位	R3(実績) R4(計画) R4(実績) 対前年比(%)
① 固定資産台帳に係る研修会	回	0 1 1 #DIV/0!
② PFI検討数	件	1 1 0 0%
③		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PFI検討委員会開催</li> <li>・ 個別施設計画の策定と公表</li> <li>・ 固定資産台帳の整理</li> </ul>	

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定資産台帳に関する研修会を実施。各課での入力を促進した。</li> <li>・ 固定資産台帳がLG端末のため、各担当者での活用が遅れている。</li> </ul>					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：研修は実施できたものの、個別に担当者が台帳入力できなかったため。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>固定資産台帳について、業者へ依頼し研修会を実施。入力する担当者を対象に実際に端末を操作してもらいながら説明会を実施したが、職員端末がLG端末ではないため活用が推進しなかった。</p> <p>PFIについては、検討会の実施が出来なかったため、次年度は適当な施設を対象に検討会を開催したい。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共料金のコンビニ納付事業	所属	税務住民課	SDG s	
事業（細目）名	公共料金のコンビニ納付事業	事業番号	1028・1031		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	連番	II-10

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	公共料金のコンビニ納付
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共料金のコンビニ納付の実施</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)					R4実績額	517,192円
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	公共料金のコンビニ納付	円	-	随時	下記	#VALUE!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共料金のコンビニ納付の実施 R4 実績</li> <li style="padding-left: 20px;">上水道 521件 1,781,730円 4税 2,434件 37,643,250円</li> <li style="padding-left: 20px;">公共下水 475件 2,246,872円</li> <li style="padding-left: 20px;">農集排 121件 482,350円</li> </ul>					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p style="text-align: center;">口座振替契約をしていない者のコンビニ納付により、現年度徴収率の向上が見込める。</p>					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：納付の利便性が高まり、収納率の向上に貢献				

R4年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<p>利用拡大を図るため、周知を拡げる。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各種証明書のコンビニ交付事業	所属	税務住民課	SDG s	
事業（細目）名	各種証明書のコンビニ交付事業	事業番号	1028・1031		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	連番	Ⅱ-11

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	各種証明書のコンビニ交付事業
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種証明書のコンビニ交付事業</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額			2,353,693円	
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 各種証明書のコンビニ交付	件	-	随時	下記	#VALUE!
②					#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容	R4 実績				
各種証明書のコンビニ交付の実施	住民票	149通	38,000円		
	印鑑証明	92通	31,000円		
	税証明	16通	4,000円		

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	R3年開始以降順調に件数増えている。今後も住民周知を図り、利用拡大に繋げたい。					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 閉庁時等でも証明取得が可能。				

R4年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	利用拡大を図るため、今後も住民周知を拡げる。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境	所属	教育課	SDG s	3
事業（細目）名	スポーツ推進事業	事業番号	1211		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安心・安全に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	—	連番
					Ⅱ-12

R4 年度

Goal(目標)	スポーツの指導・普及・事業の企画・運営を行い、スポーツを通じた活動を促進していく。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育協会や総合型地域スポーツ（スポねっとちづ）と連携した体育事業等の活動を行う。</li> <li>・ 子どもから高齢者まで幅広い方が気軽に運動と触れ合っていただく機会を設ける。</li> </ul>

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	1,227,674円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	スポーツ推進委員協議会定例会	件	10	10	10	100%
②	体育事業への参画	件	2	2	2	100%
③	ニュースポーツ大会・体験会の開催	件	2	2	2	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニュースポーツの紹介及びスポーツ推進委員の紹介チラシを作成（町内全戸配布）</li> <li>・ ニュースポーツの指導（2件）</li> </ul>				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育事業の中止やニュースポーツ大会・体験会の実施ができなかった。</li> <li>・ 定例会で協議を重ね、「子どもから高齢者まで楽しめるニュースポーツの紹介」と題して、チラシを作成して全戸配布を行った。</li> <li>・ 今後も新型コロナウイルスの影響が考えられるため、日常的に行える運動など立案や推進に取り組む必要があると考える。</li> </ul>				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：幅広い世代の体力増進に繋がる体験型スポーツの機会を設けている。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍においても行える運動の推進やイベントの開催方法を検討しながら活動していく。</li> <li>・ 研修会参加等によるスポーツ推進委員としての資質向上を図る。</li> <li>・ 地域と密着した活動を深めながら町民の健康づくりを推進する。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境	所属	教育課	SDG s	3
事業（細目）名	体育振興費	事業番号	1212		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安心・安全に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	—	連番
					Ⅱ-12

R4 年度

Goal(目標)	各団体と地域・学校が連携して各種体育事業を展開することで町民の健康づくり、スポーツ活動の充実を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育協会を通じた各種体育大会等の開催委託及び体育協会の活動支援によるスポーツ活動の充実を図る。</li> <li>・ 総合型地域スポーツクラブ（スポねっとちづ）の活動支援による町民のスポーツ環境の充実を図る。</li> <li>・ 町スキー祭を開催し、本町の子どものレベルアップを図る。</li> </ul>

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	4,703,929円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	体育協会理事会	件	3	3	3	100%
②	総合型地域スポーツクラブ（スポねっとちづ）運営委員会	件	5	5	5	100%
③	町スキー祭	人	40	40	40	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育協会委託事業各種体育大会。</li> <li>・ 町スキー祭。</li> <li>・ 各種スポーツ団体の活動支援を実施。</li> </ul>				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育協会委託事業の町民体育祭は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止とした。</li> <li>・ 総合型地域スポーツクラブ主催のチャレンジ教室開催に向けて協議を重ねたが感染拡大防止のため、開催に至らなかった。</li> <li>・ 体育事業を展開するうえで新型コロナウイルス対策を講じるとともに競技内容を見直すなどの工夫が必要。</li> </ul>				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： スポねっとの活動支援により子どもたちの体力・技能向上に繋がっている。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育事業を展開していくうえで安心・安全に実施できることを考え、競技内容等の見直しを行う。</li> <li>・ 各団体と地域・学校が連携して体育事業を展開することで町民の健康づくり、スポーツ活動の充実、コミュニティーの形成を図る。</li> <li>・ 各種スポーツ団体の活動支援を継続して行い、体育振興を促進する。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境	所属	教育課	SDG s	3
事業（細目）名	体育施設管理費	事業番号	1217		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安心・安全に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	—	連番
					Ⅱ-12

R4 年度

Goal(目標)	適宜、必要な修繕・改修を行い、施設の機能維持及び長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育施設の緊急性の高い部分を修繕し、施設の機能維持及び長寿命化を図る。</li> <li>・社会体育施設の整備、環境の充実に努め、利用促進を図る。</li> <li>・経年劣化の進んだ社会体育施設備品の更新を行う。</li> </ul>

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	36,849,459円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	維持管理する体育施設	施設	4	4	4	100%
②	修繕による適正な施設運営	施設	2	2	2	100%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水プール自動制御器機の取替修繕及び誘導灯器具の取替修繕等の予定していた修繕を実施。また、危険箇所や緊急性を要する修繕を実施。</li> <li>・月に1回以上の施設巡回を行い、環境整備を実施。</li> <li>・温水プールの経年劣化による備品の更新を実施。</li> </ul>				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ団体及び町民の施設の利便性向上のため、適正な修繕及び維持管理を行った。</li> </ul>				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：体育施設のメンテナンスを行いつつ、施設・設備等を有効に活用している。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NSIリプルの利活用を拡充させるため、スポーツ用品の更新及び修繕を行い、会員及び利用者数の増加を図る。</li> <li>・施設の維持管理に要するコストを削減するため、総合グラウンドを新電力へ切り替える。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者の生きがいと健康づくり事業	所属	福祉課	SDG s	9
事業(細目)名	在宅福祉対策事業費	事業番号	1068		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R4年度

Goal(目標)	高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりの推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・智頭町在住の高齢者に対する生きがいと健康づくり、支え合いに関する事業を、智頭町社会福祉協議会に委託して実施</li> </ul>

R4年度

Do(実行)					R4実績額	1,316,804円
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	健康活動	回	17	18	15	88%
②	学習リーダー研修	回	16	15	12	75%
③						#DIV/0!
実施内容	健康活動として、健康増進大会（年二回のウォーキング大会）・老人スポーツ大会・東部地区高齢者健康運動会・グラウンドゴルフ大会・健康教室・男の料理教室を開催。学習リーダー研修として、リーダー研修会・県研修会への参加、老人福祉大会・交通安全教室・同和研修を開催。					

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染防止対策等により、例年通りの事業が行えていない。</li> <li>・会員数の減少が進んでおり、新規会員の加入を推進する必要がある。</li> </ul>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：老人クラブの新規加入を推進する必要がある。				

R4年度

Action(改善)						
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ会員が年々減少しており、引き続き、新規会員の加入を推進していきたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の予防対策により、実施できる事業は工夫を凝らして実施し、今後も感染症対策を行いながら、できる限り事業を実施していく。</li> </ul>						

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業	事業番号	2111		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-14

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)		R4実績見込額				円
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①						#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容						

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R4年度（11月末に記入）

評価		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価		評価理由：				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内と関係機関でプロジェクトチームを構成し、町の現状についての情報共有、事業計画の立案、事業実施、事業評価を行う。</li> <li>・ 健康に関するリスクのある後期高齢者への個別支援と、後期高齢者全体の健康度の底上げを目的とした集団アプローチ（状態の把握、健康教育・健康相談等）を行う。</li> </ul>	